

令和4年 第8回

武蔵野市教育委員会定例会

令和4年8月3日

於 812会議室

武蔵野市教育委員会

令和4年第8回武蔵野市教育委員会定例会

○令和4年8月3日（水曜日）

○出席委員（5名）

教 育 長	竹 内 道 則	教育長職務代理者	高 橋 和
委 員	渡 邊 一 衛	委 員	清 水 健 一
委 員	井 口 大 也		

○事務局出席者

教 育 部 長	樋 爪 泰 平	教育企画課長	牛 込 秀 明
教育企画課 学校施設課 担当課長	西 館 知 宏	指 導 課 長	村 松 良 臣
統括指導主事	高 丸 一 哉	教育支援課長	祐 成 将 晴
教育支援課 教育相談支援 担当課長	勝 又 玲 子	生涯学習 スポーツ課長 (兼武蔵野ふ るさと歴史館 担当課長)	長 坂 征
生涯学習 スポーツ推進 担当課長	茂 木 孝 雄	図 書 館 長	目 澤 弘 康

○日 程

1. 開会の辞
2. 事務局報告
3. 議 案 第14号 令和4年度武蔵野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書（令和3年度分）について
4. 協議事項 なし
5. 報告事項
 - (1) 武蔵野市教育委員会職員の人事異動の専決処分について

(2) 旧赤星鉄馬邸の国の登録有形文化財（建造物）登録について

6. その他

◎開会の辞

○竹内教育長 ただいまから令和4年第8回教育委員会定例会を開会いたします。

初めに、会議録署名委員の指名を行います。

本日の会議録署名委員は、武蔵野市教育委員会会議規則第36条の規定により、議長において、高橋委員、渡邊委員、私、竹内、以上3名を指名いたします。

次に、傍聴についてお諮りいたします。

定員の範囲内で傍聴の申込みがあった場合、本日の傍聴を許可することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○竹内教育長 それでは、傍聴を許可いたします。

◎事務局報告

○竹内教育長 これより議事に入ります。

まず、事務局報告に入ります。

教育部長、お願いします。

○樋爪教育部長 それでは、前回の教育委員会定例会以降の教育委員会の状況等について報告をさせていただきます。

夏休みに入って2週間が過ぎました。市内の小・中学校では熱中症対策を踏まえた新型コロナウイルス感染症対策を取りつつ、夏期水泳指導や面談などを実施しております。子どもたちの安全管理や安全指導、特に熱中症対策への注意を喚起し、事件、事故の未然防止の徹底を図っております。

次に、教員研修についてでございます。

夏休み期間を活用して多くの研修会を実施しております。初任者研究、中堅教諭等資質向上研修の年次研修、教科・領域等の専門的な研修、授業力向上、特別支援教育等の教育課題に関する研修など本市主催、あるいは近隣5市主催の研修会、また、東京都主催の研修会に多くの教員が参加をしております。

新型コロナウイルス感染拡大のためオンライン開催になった研修もございますが、研修で学んだことを2学期からの授業実践に生かされるものと期待をしております。

次に、南砺市利賀村訪問についてご報告をいたします。

昭和47年から始まり、今年で50周年を迎えました。2年間の中止を経て、今年度は7月21日から24日の日程で行うことができました。市内10校の小学校から5、6年生児童14名が参加し、利賀村を訪問いたしました。

現地の利賀小学校の児童と一緒に丸太などを使った家造りや林業体験、水生生物調査、そば打ち見学などを行い交流を深めました。

なお、夏休みが明けた8月31日から9月2日には利賀小学校の5、6年生の児童9名が武蔵野市を訪れ、市内小学校への体験入学、都内見学等を行う予定となっております。

次に、市内中学校総合体育大会について報告をします。

今年度も会場が屋内の場合は無観客とし、会場が屋外の場合は、保護者1名の参観のみ認める対応や種目ごとの感染拡大防止ガイドラインの対策を徹底した上で、熱中症対策も講じながら実施をしております。

8月7日の野球を皮切りに、市立中学校6校と都立中学校1校、私立中学校6校で合わせて13校が参加して大会を行います。11月6日のテニスの部が終了するまで10種目の競技について中学生による熱戦が繰り広げられます。

なお、9月17日には武蔵野陸上競技場において市内中学校陸上競技大会が開催される予定です。

最後に、市立小・中学校で判明した新型コロナウイルスの陽性者、7月の公表分についてご報告をいたします。

陽性者は、市立小・中学校18校全校で確認をされています。総数は231名で、小学校は児童179人、教職員8人、中学校は生徒35人、教職員4人、このほか給食・食育振興財団の職員が5名でございます。学級閉鎖は延べ数で8件ございました。

以上で終わります。

○竹内教育長 ただいまの報告に質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

ちなみに、利賀村なんですけれども、今年、武蔵野市との友好都市としてのお付き合いが50年になるので、子どもたちの訪問の間、22日、23日の1泊で私も行ってきました。先方の教育長さんにもお会いできて、この間の交流についての感謝をお話しました。

子どもたちが家造りの活動をするロンレー村というところがあって、そのいろいろな設備を、武蔵野市の交流の関係団体で拠出しているお金を使って改修したところだっ

たんですね。なので、子どもたちから大変感謝をされましたので、特にそれをご報告したいと思います。

特にほかなければ、よろしいでしょうか。

**◎議案第14号 令和4年度武蔵野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価報告書（令和3年度分）について**

○竹内教育長 では、次に、議案に入ります。

議案第14号、令和4年度武蔵野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書（令和3年度分）についてを議題といたします。

説明をお願いします。教育企画課長。

○牛込教育企画課長 それでは、議案第14号についてご説明をいたします。

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検、こちらにつきましては、前回7月の定例会で自己評価の部分については協議事項として協議していただきました。

その際、ご意見いただきましたので、それらのご意見を踏まえて資料は修正し、その上で学識経験者3名の方に説明し、この点検・評価に対してご意見をいただいたところでございます。

大きくページの構成について説明します。

まず、表紙をめくっていただきますと、目次がございます。そして、1ページ、大きな1番、1ページ目の大きな1番でございますが、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について記載しております。そして、報告書の概要、それから、点検・評価の対象、実施方法について記載しております。

2ページ目につきましては、教育委員会の教育目標を記載してございます。

3ページ目からは、教育委員会の教育基本方針について記載しています。

4ページ以降は、それぞれの基本方針ごとに重点事業を記載しております。この重点事業につきましては、15ページ以降に詳細を記載しております。

この15ページから、この内容を学識経験者3名の方にご説明しました。そして、その3名の方からいただいたご意見は、43ページから記載しております。3人の先生方からそれぞれコメントをいただいて掲載しております。

43ページは岩崎先生、そして、45ページは上岡先生、47ページは樋口先生です。なお、上岡先生は今年新たに評価の学識経験者として加わっていただきました。

それから、50ページが教育委員の名簿、そして、令和3年度に実施しました教育委員会定例会の審議内容を記載しております。

今後でございますが、この点検・評価の報告書につきましては、本日の定例会で議決をいただきましたら、9月の市議会文教委員会で行政報告を行います。そして、市役所の市政資料コーナーや図書館などで配布し、ホームページでも併せて公表する予定でございます。

説明については以上でございます。

○竹内教育長 ただいまの説明に質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

先ほど学識経験者の方、新たに加わった上岡先生、ご紹介があったんですが、上岡先生について、もしよければどういう学識をお持ちなのか、分かる範囲で教えていただけますか。

○牛込教育企画課長 上岡先生につきましては、武蔵野大学の教育学部の先生です。副学長もやられておられて、もともと小学校の教員の経験もあった方です。そして、大学に移られて、特別活動を専門として今研究されているという方です。

以上です。

○竹内教育長 開かれた学校づくり協議会委員の経験もあるんですね。

○牛込教育企画課長 かつて、第二小学校の開かれた学校づくり協議会の委員も経験されているという方です。

○竹内教育長 ありがとうございます。

ご質問、ご意見があればお願いいたします。

渡邊委員、どうぞ。

○渡邊委員 大変よくまとめられており、また修正等で全て対応していただいてどうもありがとうございました。

3人の方からご意見いただいているわけですがけれども、特に岩崎先生から、非常に良い点を見ていただいております。個別事業の意見ということで、市民性を高める教育理念の中に大事な公正性の話が出ています。この辺、非常に参考になると思います。子どもたちの生きる権利とも関係しているので、こういう内容を参考にして今後進めていかなければいけないと感じました。

それから、44ページのところの学校図書館の話ですがけれども、この辺も非常に参考になる部分があります。我々もこれまで言ってきましたけれども、学校図書館と地域図書

館との連携をしっかりと進めていく必要があると非常に感じます。それと、学校の教員の士気高揚ということで、非常にきれいにまとめていただいていると感じました。

上岡先生は今年初めてということで、個別の事業に対して一つ一つ丁寧にご回答いただいていると思います。

最後の樋口先生の、48ページの教育支援課の4行目に「障害のある子どもも通常の学級の子ともと交流できます」というのはふだんやっているわけです。また、「通常の学級の子ともも障害のある子どもから学ぶ」ということが示されており、非常に感銘を受けました。子どもたちの学びが多様性によって増やせるというところは見えていただいている。さらに、それを進めていく必要もあるということで、そのときどういう学びをしたら良いのかが課題ですけれども、非常に良いご意見をいただいたと感じました。

以上です。

○竹内教育長 今のご意見に特にコメントがあれば。

よろしいですか。

では、ほかにご質問があれば。

高橋委員、どうぞ。

○高橋教育長職務代理者 1点、ちょっと表記の仕方についてなんですけれども、①、②、③というふうに書かれたところに半角がある課と半角がない課というのがあるんですね。これは統一をしたほうがより見やすくなるのかなと思いましたので、お伝えいたします。

そして、有識者からの意見で、私も渡邊委員と同じように、岩崎先生の、公正性についての言及がないというところは良い指摘をいただいたのかなと思いました。

46ページの下から3行目のところですね。「図書館は学生の勉強の場や居場所としての機能など多様化している」とありますけれども、やはり図書館という場所が居場所というところも今後は着目していく点というふうになっていくのかなと思いました。

全体として非常に大変よくまとめていただいて、ありがとうございました。

以上です。

○竹内教育長 教育企画課長。

○牛込教育企画課長 数字の表記については、そのようにしたいと思います。

○竹内教育長 ほかに。

清水委員、どうぞ。

○清水委員 26ページですね。実績のところ②ですけれども、これは研究発表の日です

ね。2月10日だけ曜日が入っているんですが、1月21日と1月28日に曜日が入っていないので、ここは統一してください。

それで、改めてこれを見て思ったんですが、三小のときは天気が大変悪かったんですね。参加者60名というのは多分それがあるんだろうなとは思いますが、天気が悪いからちょっと今日はやめておこうかというのではなくて、やはり、これは、ぜひ各学校予定の人数でというか、管理職の先生方が結構大勢来ているので、管理職でない授業を持っている先生たちが行って学ぶように、また今年度以降、検討していただけたらありがたいと思いました。

あと2つ、意見なんですけれども、聞いていただくだけで良いんですが、改めてこれ、最初から最後まで読んでみました。それぞれの事業において目標を設定して、達成の状況を実績にまとめて今後の方向性においてこれからの取組が具体的に示されていると思います。渡邊委員もおっしゃったんですが、分かりやすくまとめられていると思います。

今後、検討していただきたいということについてちょっと申し上げたいんですが、例えば、20ページの事業4、武蔵野市民科の実施というところなんですけれども、ここにおける最終目標というのは、「自立」「協働」「社会参画」という資質・能力を育成することだと思えます。ですから、目標、実績、そして方向性の中に、今年度の取組として児童・生徒にどんな力がついてきたのか触れられると良いなど。自立についてはこういう傾向があるとか、協働についてはこんなふうな活動が見られたとかという、そういった児童・生徒の変容について、調べ方はいろいろあると思えますけれども、ここがこう変わっていますと、そういったあたりが触れられてくると良いのかなと。そういう児童・生徒の姿として書ける事業と書けない事業があるんですが、書ける事業についてはできるだけ触れていくということが良いのかなというふうに思いました。

それから、最後に有識者の意見を拝見して、それぞれの先生方がそれぞれのアプローチ、視点で書いていらっしゃると思います。それぞれの先生方の思いというのが伝わってきたわけなんですけれども、昨年、有村先生がかなり具体的に、そして深く掘り下げて書かれている、それよりはちょっと柔らかい形で皆さん書かれているんですが、ぜひ全課で共有していただいて、また来年度以降に生かしていただくと良いのかなと思いました。

全部意見ということで聞いてもらえれば。

○竹内教育長 指導課長。

○村松指導課長 表記上のところで曜日は入れる方向で修正をしたいと思います。

あと、第三小学校の発表ですけれども、天候が悪かっただけではなく、このときがちょうど新型コロナウイルス感染で学級閉鎖のところが相次いだという時期で、近隣の学校が学年閉鎖等も行ってたというところもあったので、学校として行ける状態、なかなか全校午後カットして行く態勢が取れなかったというところがございました。なので、参加者数が少なかったという事情がございます。

武蔵野市民科の評価と効果測定というところですが、これは岩崎先生からもヒアリングの際にご指摘をいただきまして、今までどのように子どもたちに評価を還元するのかというところまでは詰めていたんですが、どのような資質・能力が身についたかという効果測定をどのように行っていくのかというところが足りないというところは今回ご指摘いただきましたので、ここについては改善を図っていきたいと考えております。

以上です。

○竹内教育長 ほか、いかがでしょうか。

井口委員、どうぞ。

○井口委員 改めまして、この今回の報告書を見たところ、3名の先生方からの有識者からの意見を見まして、また違う切り口で、アプローチで、それぞれ書いていただいて、とてもこういう機会って大切なんだということをつくづく感じたところです。

特に岩崎先生ですと、44ページの中段にあります、「市民が市役所に来る機会に学習情報を提供できる仕組みや『おためし』で学習活動やスポーツ活動に参加できる工夫」という表記があって、この部分も新たな動きとしてできたら良いと感じたところです。

また、上岡先生につきましては、46ページの上のほうにありますけれども、「チャンピオンシップを目指す部活の在り方は再考が必要である」ということで、がっとう切り込んだ表現がある中で、どのような形で今後進んでいくのかというところもきちんと進めていかなければいけないことの一つとして思ったところです。

そして、樋口先生ですと、48ページにございます、やはりこれも中段ですが、
「いたずらに学校復帰を目指さない、不登校ゼロを目標に掲げない」など、これも具体的に切り込んでいただいて、去年1年間の活動の中から評価していただいた意見としていただいた中で、それぞれの先生方の思いや考えというものが、今後どのように進めていくのかという方向づけの一つになり得るんだろうというふうに感じたところです。以

上、感想を述べさせていただきました。

以上です。

○竹内教育長 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、お諮りいたします。

議案第14号について採決に入りたいと思いますが、これに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○竹内教育長 異議ないものと認め、採決に入ります。

議案第14号、令和4年度武蔵野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書(令和3年度分)について、本案を事務局提案のとおり決することに賛成ということよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○竹内教育長 それでは、本案は事務局提案のとおり決定させていただきます。

◎報告事項

○竹内教育長 次に、報告事項に入ります。

報告事項1、武蔵野市教育委員会職員の人事異動の専決処分についてです。

説明をお願いします。教育部長。

○樋爪教育部長 報告事項1、武蔵野市教育委員会職員の人事異動の専決処分についてでございます。

人事の決定につきましては教育委員会の権限となっておりますが、市長部局で事務局職員も含めて市全体の調整を行った中で、お手元の資料にありますとおり人事異動の内示を行ったものでございます。

発令は8月1日付となっております。この内示が7月25日にございましたが、この間、教育委員会を開催してお諮りする時間がなかったことから、教育長による専決処分を行った上、本日ご報告をさせていただくものです。

説明は以上でございます。

○竹内教育長 ただいまの説明に質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、この報告事項につきましては了承されたものといたします。

次に、報告事項2、旧赤星鉄馬邸の国の登録有形文化財（建造物）登録についてです。説明をお願いします。生涯学習スポーツ課長。

○長坂生涯学習スポーツ課長 旧赤星鉄馬邸の国の登録有形文化財登録についてご報告いたします。

武蔵野市吉祥寺本町4丁目1823ほかに所在する旧赤星鉄馬邸が令和4年7月22日開催の国の文化審議会文化財分科会の審議・議決を経て、登録有形文化財に登録するよう文部科学大臣に答申されました。

今回の答申を受けたことで、国の官報による告示を経て、登録有形文化財となります。今後の利活用につきましては、有識者会議を設置し利活用方法の検討を行ってまいります。

登録内容につきましては記載のとおりでございます。

建造物の特徴ですが、アントニン・レーモンド設計による実業家赤星鉄馬の邸宅でございます。中央で屈曲した東西に長い中廊下型平面で、前庭側外観は水平連続窓となっております。ひさしを差し出した玄関にはスリットを入れた曲面壁の階段室があり、コンクリート造形の可能性が追求された建物でございます。

昭和31年からナミュール・ノートルダム修道女会が使用していましたが、令和3年2月に武蔵野市の所有となりました。

報告は以上です。

○竹内教育長 ただいまの説明に質問、ご意見がございましたらお願いします。

もし分かったら教えていただきたいんですが、武蔵野市には国の登録有形文化財はほかにもあったと思うんですけども、ほかにどういうものがあるのかというのが1つと、これは確認ですけども、アントニン・レーモンドさんの設計した建物というと、東京女子大学の礼拝堂もたしか同じ方かと思ったんですけども、もし分かったら、それも教えていただけますか。

生涯学習スポーツ課長。

○長坂生涯学習スポーツ課長 市内には国の有形文化財として、日本獣医生命科学大学の校舎等がございます。レーモンドのほかの建築物ですが、おっしゃるとおり東京女子大学の礼拝堂がございます。

○竹内教育長 よろしいですか。

それでは、この報告事項につきましては了承されたものといたします。

◎その他

○竹内教育長 次に、その他ですが、その他として何かございますか。

○牛込教育企画課長 ございません。

◎閉会の辞

○竹内教育長 それでは、これをもちまして本日の日程については全部終了いたしました。

次回の教育委員会定例会は、令和4年9月7日水曜日、午前10時から開催いたしますので、よろしく願いいたします。

お疲れさまでした。

午後 3時27分閉会